

# 九州大学交換留学プログラム

The 21<sup>st</sup> Century Challenges in Studying Abroad Program (CSP)



## 留学事後報告書

はじめに読んでください：

- ※ 九州大学は学生の皆さんの留学経験に関する情報をできるだけ多く集め、今後の留学支援そして広く国際教育交流教育の強化のために役立てるよう努めています。あなたがこれから記入するこの報告書は本学にとってとても貴重な情報となります。この報告書にはたくさんの記入項目がありますが、あなたの今回の留学経験に該当する項目を頑張って全て記入してください。
- ※ この報告書によって提出された情報は、他の学生の皆さんの参考情報として九州大学の HP に掲載しますが、あなたの個人情報保護のため、**I、VI、Ⅷ（項目 No.94 のみ）の情報は HP には掲載しません。**
- ※ 交換留学期間終了後 15 日以内に該当する全項目を記入の上、学務部留学生課留学生交流係の E-mail ([ruygaku@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:ruygaku@jimu.kyushu-u.ac.jp)) に電子データで提出してください。

### I. あなた自身について記入してください。（この項目は HP には掲載しません）

1. 氏名：
2. 学生番号：
3. 所属学部／学府：
4. E-mail アドレス：  
(帰国後にも使用できるもの)
5. 帰国後の住所：
6. 携帯電話番号：
7. 帰省先住所：
8. 帰省先電話番号：


※今後、交換留学を考えている本学の学生から「留学経験者を紹介してほしい」と連絡があった場合、あなたの氏名と E-mail アドレスをその学生に教えてもいいですか？以下に回答をお願いします。

- 教えても良い。
- 教えないでほしい。
- その都度、相談してほしい。

### II. あなたの留学に関する基本情報を記入してください。

9. 留学先大学名：
10. 留学先所在国：

国立台湾大学
台湾

11. 留学先学部名： (またはプログラム等の名称)	大 学 間 交 換 留 学 、 法 律 学 院 、 法 学 部
12. 留学期間：	2017年 9月 ~ 2018年 1月
13. 留学期間中の年次：	4年次 (台湾では1年次扱い)

### III. 今回の留学に向けて行ったビザ申請の手続きについて報告してください。

14. 取得したビザの種類：(例：F-1 ビザ)

停留ビザ

15. ビザの申請先：(例：在福岡米国領事館)

台北駐日経済文化代表処 駐福岡弁事処

16. ビザ申請に要した提出書類：

- 1、旅券及び旅券コピー
- 2、申請書1通 (本人の署名が必要)  
◎2012年4月から申請書はウェブサイトで作成することになりました。
- 3、証明写真2枚 (3.5cm x4.5cm、申請日前6ヶ月以内撮ったもの)
- 4、留学先の学校の入学許可書原本とその写し1通
- 5、現在所属する大学の在学証明書
- 6、査証手数料

17. ビザ申請手続きの方法と流れ：(例：オンライン申請、面接予約、〇〇領事館で面接、ビザ郵送)

オンラインで申請書を作成した後、事務所にて申請、事務所にてビザ受取

18. ビザ申請から取得までに要した期間：(例：約2か月、3週間)

2日。即日可能。

19. ビザ以外に留学先国への入国に要した手続きがあれば報告してください：

到着後にオンラインで提出する書類がありました。

20. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

特になし

IV. 今回の留学にあたり、申請・受給した奨学金等について報告してください。

奨学金制度への申請：

21. (九州大学全学協力事業基金奨学金、日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (協定派遣) を除いた、自身で申請した奨学金制度の有無。)

- 申請した。  
 申請しなかった。

22. 項目 21.(上記)への回答が「申請した。」の場合、申請した奨学金制度の名称を全て記入してください：  
(例：第7期トビタテ！留学 JAPAN 世界トップクラス大学コース)

23. 奨学金等の取得：

- 取得した。  
 取得しなかった。

24. 項目 23.(上記) への回答が「した。」の場合、その取得した奨学金名を全て記入：  
(例：日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (協定派遣) )

日本学生支援機構海外留学支援制度

25. 今回、申請・取得した奨学金制度をどのように知ったか報告してください：

留学申請に伴って学務の方に自動的に登録していただいた。

26. 九大基金支援事業「海外留学支援」(海外留学渡航費支援)の助成を得ましたか？

- 助成を得た。  
 助成を得なかった。

27. 項目 26 への回答が「助成を得なかった。」の場合、得なかった理由を回答してください。

- 他から渡航費の援助を受けたため  
 「海外留学支援」(渡航費支援)の制度を知らなかったため  
 その他 ( )

28. 今回の奨学金制度等への申請にあたり、周囲から受けたサポートなどがあれば報告してください：  
(例：経験者の先輩や友人からアドバイスを受けた、担当の先生や留学関連の事務室に行って相談した、など。)

特になし

29. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

特になし

#### V. 留学先大学での授業経験や学習サポートについて報告してください。

30. 履修した科目を教えてください。(単位の取得に関わらず、全て列挙。)

国際生華語、国際生実用華語、中華民国憲法と政治、知的財産権法概論、女性主義と法律

31. 授業経験の総合的な感想として、以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- とても勉強になった。
- 勉強になった。
- どちらかという勉強になった。
- どちらとも言えない。
- どちらかという勉強にならなかった。
- ほとんど勉強にならなかった。
- 全く勉強にならなかった。

32. 項目 31.(上記)への回答の理由：

法学科目はやはり難易度が高く、聞いて書き取るだけで必死であったが、その中でも日本と台湾の違いを知ることができた。国際生向けの授業ではなかったため、全てがネイティブレベルで、周りの学生も意識が高く、面白かった。  
国際生向けの中国語の授業では、言葉だけでなく台湾文化もあわせて学べるような授業が展開され、刺激的に中国語を学ぶことができた。台湾人とのハーフも多く、国際生でありながら既に発音がネイティブなクラスメートも多く、発音についてはかなり鍛えられる環境だったと思う。確かに大陸の中国語とは異なるが、十分に聞く力を伸ばせたと感じる。

33. 履修した授業の中で最も勉強になったと思う科目：(一つだけ記載してください。)

中華民国憲法と政治

34. 項目 33.(上記)への回答の理由：

政治学系一年生向けの授業だったので私にとっても何とか理解できるレベルであり、また、憲法を学ぶことで台湾社会の基礎の部分を理解することが出来たから。一国の礎を知ることは良い機会だったと思う。

35. 履修した授業の中で最も勉強にならなかった(もしくは最も困難だった)と思う科目：(一つだけ記載してください。)

国際生実用華語

36. 項目 35.(上記)への回答の理由：

授業自体の評判は良かったが、たまたま当てられた先生が酷かった。学生への対応があまりにも適当であり、評価も甘すぎたため、学生にとって学びの機会が非常に少なかった。テキストも先生が選択するものであるが、これも面白くないうえに同じようなテーマの繰り返しで微妙だった。

37. 留学先大学で語学補講などの語学面での支援やサポートを受けましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 受けた。
- あったが特に受けなかった。
- そのような支援体制やサポートがあったか否かわからない。
- そのような支援体制やサポートはなかった。

38. 項目 37.(上記)への回答が「受けた。」の場合、その支援またはサポートの名称を全て記入してください：

国際生華語、国際生実用華語

39. 項目 37.への回答が「受けた。」の場合、その支援やサポート全体に対する感想として、以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- とても役に立った。
- 役に立った。
- どちらかという役に立った。
- どちらとも言えない。
- どちらかという役に立たなかった。
- ほとんど役に立たなかった。
- 全く役に立たなかった。

40. 項目 39.(上記)への回答の理由：

国際生向けの中国語の授業が開講されており、レベル分けテストに応じてクラスが分けられ、適切なレベルでの授業を受講することができた。国際生華語は週三日、国際生実用華語は週二日、合わせると週五日、他の留学生とともに中国語を履修した。留学生向けの授業であるため、授業は基本的にピンインを使用した(台湾ではふつう注音を用いる)。しかし個人的には台湾人と仲良くなりたいのであれば注音を学ぶことを推奨する。また、台湾語(閩南語)を学ぶにはそれ専用の授業を取る必要がある(中国語で開講)。

41. 留学先大学で、語学面以外の学習支援を受けましたか？(例：大学院生や上級生によるチューター・プログラムなど)以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 受けた。
- あったが特に受けなかった。
- そのような支援体制やサポートがあったか否かわからない。
- そのような支援体制やサポートはなかった。

42. 項目 41.(上記)への回答が「受けた。」の場合、その支援またはサポートの名称を全て記入してください：

学生ボランティア

43. 項目 41.への回答が「受けた。」の場合、その支援やサポート全体に対する感想として、以下の選択肢から最も相応しいもの一つだけ選んでください：

- とても役に立った。
- 役に立った。
- どちらかという役に立った。
- どちらとも言えない。
- どちらかという役に立たなかった。
- ほとんど役に立たなかった。
- 全く役に立たなかった。

44. 項目 43.(上記)への回答の理由：

入学申し込みの時点でボランティアを必要とするか否かの項目があり、必要にチェックをつけると、大学側が、同じまたは分野の近い学部の学生ボランティアをチューターとしてつけて下さった。コース登録のミスがあったときや、学籍登録のときなど、色々な場面で親身になってサポートしてもらい、心細かった私の学生生活が安心して送れるものになったから。

45. 上記の他、留学先大学が提供してくれた学習支援・環境等について、報告したいことがあれば記入してください。

特になし

46. あなたが留学先大学に特に提供して欲しかった学習支援などがあれば、記入してください。

特になし

47. 交換留学先としてあなたが今回学んだ大学に対してどのような感想を持ちましたか？以下の選択肢から最も相応しいもの一つだけ選んでください：

- とても良い大学だと思う。
- 良い大学だと思う。
- どちらかと言うと良い大学だと思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかという良い大学とは思わない。
- 良い大学ではないと思う。
- 絶対に良い大学ではない。

48. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

国立台湾大学は困った時に助けてくれる人を見つけやすい大学だと思います。先生でも事務の人でも学生でも基本的に親身な人ばかりなので制度の有無に縛られず沢山頼っていいと思います。

**VI. 留学先でのあなたの健康と安全・防犯について報告してください。  
(この項目は HP には掲載しません)**

49. 留学先大学で新入留学生向けのオリエンテーションに参加しましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- オリエンテーションに参加した。
- オリエンテーションには参加しなかった。
- オリエンテーションがあったか否かわからない。
- オリエンテーションはなかった。

50. 項目 49.(上記)への回答が「オリエンテーションに参加した。」の場合、そのオリエンテーションで、学内・学外での学生生活における健康や安全・防犯に関するアドバイスや資料などが提供されましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- しっかり提供された。
- ある程度提供された。
- どちらとも言えない・覚えていない。
- あまり提供されなかった。
- 全く提供されなかった。

51. 留学先で、学内・学外に関わらず病気や怪我をしましたか？

- した。
- しなかった。

52. 項目 51.(上記)への回答が「した。」の場合、差し支えなければその病気や怪我の状況を報告してください：

53. 項目 51.への回答が「した。」の場合、それに対処するために留学先大学が提供する支援を活用しましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 支援があったので活用した。
- 支援はあったが特に活用しなかった。
- 支援があったか否かわからない。
- 支援はなかった。

54. 項目 53.(上記)への回答が「支援があったので活用した。」の場合、その支援内容を説明してください：  
(例：大学内にあるキャンパスクリニック（九大のキャンパスライフ・健康支援センターのような施設）に行った、大学の留学生課が近くの病院・クリニックを紹介してくれた、など）。

55. 項目 53.への回答が「支援があったので活用した。」以外の場合、それにどの様に対処したか、差し支えなければ報告してください：

56. 項目 51.への回答が「した。」の場合、大学内にあるキャンパスクリニック（九大のキャンパスライフ・健康支援センターのような施設）以外の学外の病院に行きましたか？

行った。  
 行かなかった。

57. 項目 56.への回答が「行った。」場合、学研災付帯 海外留学保険（付帯海学）を使用しましたか？

使用した。  
 使用しなかった。

58. 項目 57.への回答が「使用した。」場合、病院等で診察した後どのような保険の手続きを行ったか、報告してください。  
(差し支えない範囲で結構です。)

59. 項目 57.への回答が「使用しなかった。」場合、別の保険を使用しましたか？  
使用した場合は、その保険についても併せて報告してください。

別の保険は使用しなかった。  
 別の保険を使用した。  
・保険名：( )  
・保険料：( 円 )  
・どうしてその保険に加入しましたか？  
 留学先大学からの指示があったため。  
 保護者（等）から勧められたため  
 その他（具体的に： )

60. 留学先で、精神的に落ち込んだりつらい思いをしたりした時期がありますか？  
(例：ホームシック、不眠症、過度の緊張やストレス、ふさぎ込み、など)

ある。  
 ない。



61. 項目 60.(上記)への回答が「ある。」の場合、差し支えなければその時の状況を報告してください：

62. 項目 60.への回答が「ある。」の場合、それに対処するために留学先大学が提供する支援を活用しましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 支援があったので活用した。
- 支援はあったが特に活用しなかった。
- 支援があったか否かわからない。
- 支援はなかった。

63. 項目 62.(上記)への回答が「支援があったので活用した。」の場合、その支援内容を説明してください：  
(例：キャンパス・カウンセリングを受けた、大学の留学生課などが良い相談先を紹介してくれた、授業担当の先生などが相談に乗ってくれた、など)。

64. 項目 62.への回答が「支援があったので活用した。」以外の場合、それにどの様に対処したか、差し支えなければ支障がない範囲で報告してください：

65. 留学先で身の危険にさらされたり、身の危険を感じたりしたことがありますか？：（人為的なものや自然災害を含む）

- ある。
- ない。

66. 項目 63.(上記)への回答が「ある。」の場合、差し支えなければその時の状況を支障がない範囲で報告してください：

67. 項目 65.への回答が「ある。」の場合、それに対処するために留学先大学が提供する支援を活用しましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 支援があったので活用した。
- 支援はあったが特に活用しなかった。
- 支援があったか否かわからない。
- 支援はなかった。

68. 項目 67.(上記)への回答が「支援があったので活用した。」の場合、その支援内容を説明してください：  
(例：キャンパスの守衛などに助けを求めた、大学の担当窓口もしくは授業担当教員に助けを求めた、大学の SOS 専用番号に電話したなど)

69. 項目 67.への回答が「支援があったので活用した。」以外の場合、差し支えなければそれによどの様に対処したか報告してください：

70. 上記の他、留学先(学内・外)での健康や安全・防犯に関する経験や、それらに対する留学先大学の取り組みや学生支援に関して、報告できることがあれば記入してください。

71. その他、健康と安全・防犯について報告したいことがあれば記入してください。

## VII. 留学でのあなたの日常生活や生活環境について報告してください。

72. 留学先での住居の種類は何でしたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 大学の寮(ドミトリー)  
 民間のアパート  
 民間の借家  
 ホームステイ  
 その他 (記入してください： )

73. 留学先での住居の住所：(部屋番号は不要)

台湾台北市大安區辛亥路 3 段 30 號 國青宿舍 IYC Dorm

74. 月々の住居費・家賃：(日本円換算で)

8,000 円程度

75. 住居をどの様に見つけたか、報告してください。

入学申請の際にあわせて応募する。

76. 留学中のあなたの住居は、これから留学する九大生にお勧めできますか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 強く勧める。
- 勧める。
- どちらとも言えない。
- あまり勧めない。
- 全く勧めない。

77. 項目 76.(上記)への回答の理由：

2人部屋なので誰と組むかにもよるが選べない。しかし設備やサービスはかなり充実している。生活にはまったく問題がない上、台湾大学の宿舎のうち一番安い値段で入居できる。個人的にはドライヤー完備だったところが高評価だった。また、門限もないため非常に便利。

78. 留学先でのあなたの月々の生活費はおよそいくらでしたか？（日本円換算）

90,000 円

79. 留学先でのあなたの月々の生活費のおおよその内訳を報告してください：（日本円換算）

住居費(家賃)：	0 円（一学期分先払い）
光熱水費：	0 円
通学費：	0 円
食費：	40,000 円
社交費：	3,000 円
電話代：	0 円
インターネット代：	0 円
書籍代：	1,000 円
その他：	46,000 円

80. 学費・寮費以外に大学へ納入した費用等があれば、その費目と金額を報告してください：  
（例：International Student Fee、Administration Fee など）

費目：	円
費目：	円

81. 日常生活に当たり、日本から持参して良かったと思うもの、持参するべきだったと思うものがあれば報告してください：  
（例：PC や変圧器など）

PC、日焼け止め、ビタミンサプリ

82. お金の管理や受け取りについて、あなたの留学先で最も適切だと思う方法を教えてください：  
(例：現地での銀行口座開設や海外送金、または日本からクレジットカード持参など)

VISA のクレジットカードによる海外キャッシングサービスを利用

83. 住居を含めて、留学先でのあなたの日常生活の包括的な感想を教えてください。以下の選択肢から最も相応しいもの一つだけを選んでください：

- とても良かった。
- 総じて良かった。
- どちらとも言えない。
- あまり良くなかった。
- 全く良くなかった。

84. 項目 83.(上記) への回答の理由を記入してください。

幸運なことにルームメイトに恵まれたため、生活面でのストレスがなかった。食事もどれも美味しく、不満に思うことはほぼなかった。

85. 今後、今回あなたが日常生活を送った場所やその周辺に居住する（であろう）九大生に向けて、健康や安全・防犯の面も含めた日常生活を送る上でのアドバイスや、周辺地域に関して伝えたい情報などがあれば記入してください。

日本ほどではないが現金主義なのでカードだけでは不十分。

86. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

特になし

**VIII. 今回の留学と卒業や就職の見通しとの関連について報告してください。  
(No.94 は HP には掲載しません)**

87. 留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無：

- 見込みあり。
- 見込みなし。
- 分からない。

88. 項目 87.(上記)への回答が「見込みあり。」の場合、遅れる期間：(例：1 学期、1 年、など)

89. 項目 87.への回答が「見込みあり。」の場合、遅れる理由：

- 4年次に留学したため。
- 単位が不足するため。
- その他。(理由を記入： )

90. 卒業/修了を遅らせないために行った配慮や工夫があれば報告してください：

4年前期までに必要単位を揃え、ゼミについては法学部の倍単位申請に備えて多めの単位を取得して、4年後期に半年だけ留学をすることにした。

91. 進路の予定を教えてください：

- 就職： ( 2018年 4月 から )
- 大学院進学： ( 大学 学府 研究科 )
- その他： (明記してください： )

92. 項目91.(上記)の回答が「就職」の場合、就職活動予定時期または就職活動を行った時期(内定している場合)を教えてください：

3年後期~4年6月

93. 項目91.の回答が「就職」の場合、予定している就職活動方法または実際に行った就職活動(内定している場合)を教えてください：

リクナビマイナビへの登録、会社説明会、適性検査、エントリーシート、面接……といったごく普通の就活だったと思います。

94. 項目91.の回答が「就職」であり就職先が内定している場合、差し支えなければ就職先の名称を教えてください：  
(統計資料として交換留学の広報に活用し、HPには掲載しません。)

95. あなたにとって、就職や大学院進学など進路の検討・決定に今回の留学経験がどの程度影響しましたか？以下の選択肢から最も相応しいもの一つだけ選んでください：

- とても影響した。
- ある程度影響した。
- どちらとも言えない。
- あまり影響しなかった。
- 全く影響しなかった。

96. 項目95.(上記)の回答の理由を記入してください：

就職活動を終えてから留学したため直接的な影響は無かったが、今後部署を選べるようになったときには台湾やアジアに関連する部署で仕事をしてみたいと思うようになった。

97. 項目91.の回答が「就職」の場合、今回の留学経験がどの程度就職活動に役立っている・役立ったと思いますか？以下の選択肢から最も相応しいもの一つだけ選んでください：

- とても役立っている・役立った。
- ある程度役立っている・役立った。
- どちらとも言えない。
- あまり役立っていない・役立たなかった。
- 全く役立っていない・役立たなかった。

98. 項目 97.(上記)の回答の理由を記入してください：

すでに就職活動を終わってから留学したため。

99. 今回の、あなたの留学経験と進路(就職や大学院進学など)の関係について、他の学生に伝えたいメッセージなどがあれば記入してください。

留学することで人生に多様なあり方があることに気付かされました。

100. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

特になし

## IX. 今回の留学経験の全体的な振り返りを報告してください。

101. 今回の留学経験全体を振り返り、どの程度留学して良かったと思いますか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 留学して本当に良かった。
- どちらかと言うと留学して良かった。
- どちらとも言えない。
- あまり留学して良かったと思わない。
- 全く留学して良かったと思わない。

102. 項目 101.(上記)への回答の理由を記入してください：

語学力という面では日本では中々培えない、ネイティブならではの日常会話を聞くことができ、また、話す機会も多く、気づいたら口から中国語が出て来るようになったから。また、文化の差異についても学べ、より一層台湾のことが好きになったから。加えて、授業やサークルなどで出会った人々から色々な刺激を受け、視野が広がったから。

103. 項目 101.の回答に関わらず、今回のあなたの留学経験を(更に)有意義なものにするために、あなた自身が留学先国(地域)、留学先大学でしておくべきだったと思うことがあれば記入してください。

せっかく台湾に来たのであれば台湾語も難しくても履修しておけばよかったと後悔しました。

104. 項目 101.の回答に関わらず、今回のあなたの留学経験を(更に)有意義なものにするために、九州大学にして欲しかったと思う取り組みや支援があれば記入してください。

特になし

105. 今後、今回のあなたの留学先と同じ大学や地域への留学を希望する九大生たちに向けて、メッセージやアドバイスがあれば記入してください：

国立台湾大学への留学は自信を持っておすすめします。女子でも安心の留学先ですし、学びも多いです。半年だけの留学でも十分に台湾のことを知れ、語学力も飛躍的に伸びると思います。

106. 今後、留学先大学や地域に関わらず、海外留学を希望する九大生たちに向けて、メッセージやアドバイスがあれば記入してください：

留学は迷うくらいなら行ったほうがいいです。滅多にある機会ではないですし、何より、九州大学のサポートは他の大学と比べてもかなり手厚いです。九大にいる利点のひとつが留学の容易さだと思います。この機会をみすみす逃してはならないと思います。

107. 留学準備中・留学中・留学後に役に立つ・役に立ったと思うウェブサイト等があれば、そのサイト名と URL を、簡潔な理由を添えて記入してください：

特になし

108. その他、今回の留学経験全体を振り返り、報告したい感想や情報があれば記入してください。

特になし

九州大学交換留学プログラム留学事後報告書の記入事項は以上です。大変お疲れ様でした。  
この報告書の内容に関して質問や相談したいことなどがある場合は、下記の担当者へ連絡してください。

九州大学留学生センター教授 肥後裕輝  
[higo.masateru.644@m.kyushu-u.ac.jp](mailto:higo.masateru.644@m.kyushu-u.ac.jp)

九州大学学務部留学生課留学生交流係  
[ryugaku@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:ryugaku@jimu.kyushu-u.ac.jp)